

一般市道整備などの生活道路整備は、道路改良を進めるとともに、老朽化が進む幹線道路の舗装改良などに取り組み、道路環境の改善を進めます。また、橋りょうは、維持・保全に努めます。

水道事業は、稲荷山配水場配水池の更新工事に着手します。下水道事業は、市街化調整区域第3期事業の整備完了を目指すとともに、市街化調整区域第4期の事業着手に向けた準備を進めます。

【重点事業と予算】
公園施設改修事業費：2千100万円
放置自転車対策事業費8億5千530万2千円
狭山市駅上諏訪線整備事業費：3億2千351万8千円
幹線市道整備事業費：1億1千万円
一般市道整備事業費：3千995万円
一般市道舗装整備事業費：3千



市が土地開発公社から買い戻す入曽駅西口の自転車駐車場用地

700万円
橋りょう維持保全事業費：750万円

活力のある産業を育てる
まちをめざして【産業経済】

新たな産業の育成は、首都圏産業活性化協会と連携し、インキュベーションセンターを拠点とした新たな「ものづくり」の研究・開発の支援を行うとともに、公的助成金の指導や産学・産産連携のコーディネートを行い、地域産業の発展につなげます。

魅力ある商業拠点や商店街の形成は、集客増につながるイベントなどの商店街活動を支援します。また、店舗・住宅リフォーム補助事業は、利用の増加に努め、地域経済の活性化に寄与します。

地域産業の支援及び工業の活性化は、「企業立地奨励金制度」とともに、本年1月に施行した「工場立地法地域準則条例」と「敷地外緑地設置要綱」により、新規企業立地と既存事業所の設備投資を促進します。

農業の活性化は、首都近郊農業の有利性を生かした振興策に努めます。特に狭山茶は、関係団体などと連携しながら消費回復に向けた振興事業に取り組みとともに、さやま農産物生産力強化支援事業に

より、農業後継者の育成や安全・安心な農産物の供給を支援します。また、狭山げんき村は、核となる農産物直売所の本年秋季オープンに向けて、JAいるま野を支援します。さらに、学童農業体験のモデル事業を3校で実施し、食の大切さ・農業への理解を深めます。

労働施策は、産業労働センターを拠点に、内職相談事業や若者サポートステーションなど、幅広い年齢に対応した就労相談を実施するとともに、ハローワークと連携した就職面接会や、県・商工会議所などの共催による資格取得講座や就労セミナーを開催し、引き続き雇用機会の拡充に取り組みます。

【重点事業と予算】
企業立地促進事業費：1億500万円
農業振興事業費：1千808万4千円
狭山茶消費拡大振興事業費：412万7千円
学童農業体験事業費：153万円

人を育み文化を創造する
まちをめざして【教育文化】

生涯学習や社会教育の推進は、PTA活動などで培った成果を、中学校区などを単位とする地域の中でまちづくりに生かしていく活動の支援を図ります。

【重点事業と予算】
地区まちづくり推進事業費：841万3千円
市営住宅鶴ノ木団地建替事業費：13億2千285万円
既存市営住宅改修等事業費：1億2千180万1千円
住宅等耐震改修促進助成事業費：650万円
危機管理体制構築事業費：2千万円
災害応急対策事業費：1千614万4千円



26年度中の建替工事が予定される市営鶴ノ木団地敷地

計画の推進のために

協働の推進は、「さやま市民大学」において、市民主体のNPO法人と協働で運営を行うとともに、元気なまちづくりを担う人材育成を図ります。

計画行政の推進は、第4次総合振興計画基本構想と前期基本計画の策定に向けて、市民会議などに

公民館は、老朽化した新狭山公民館の更新に向けての設計や奥富公民館の空調改修工事を実施します。図書館は、中央図書館の耐震と空調設備の改修工事を実施します。生涯スポーツの促進は、「日本スポーツマスターズ2014埼玉大会」や「埼玉県レクリエーション大会inさやま」の開催を支援するなど、スポーツやレクリエーションに親しむ機会の拡充を図ります。また、26年度中に、スポーツ施設の整備に関わる今後の方針を明確化します。

学校教育は、指導方法の工夫・改善を行うとともに、小中連携教育の推進を図ります。また、各小中学校で「いじめ防止対策基本方針」を策定するなど、いじめを「しない・させない・許さない」学校づくりを推進します。

学校教育施設の充実は、水富小学校と山王小学校、堀兼中学校の体育館の耐震補強工事を実施するとともに、御狩場小学校と入間野中学校の空調設備の改修を実施します。

学校の規模と配置の適正化は、27年4月に入間中学校を統廃合し、山王中学校と入間野中学校に編入統合するため、統合先の中学校の環境整備や事前交流などを進めるとともに、28年4月に東中学校を

より、市民のご参加をいただきながら、素案づくりを進めます。行財政改革の推進は、第4次行財政改革大綱に基づき、個別行動計画の着実な推進に努めます。効率的・効果的な行政運営の推進は、計画、予算、決算、評価を連動させたPDCAサイクルにより、行政の効率性や透明性の向上、職員意識改革をさらに進めます。

機能的な組織運営の推進は、第3次定員適正化計画に基づく職員数の適正化を図るとともに、新たな行政課題に対応する組織の整備に努めます。

【重点事業と予算】
市民大学事業費：4千372万4千円
公共建築物耐震改修事業費：3億1千371万円
市政功労者表彰事業費：105万1千円
政策企画調整事業費：1千228万4千円

引き続き、元気な狭山の実現に向け、市民の皆様の声や思いを胸に刻み、市政を推進する上で車の両輪となる市議会とともに、公平公正な姿勢で、次代を切り拓いてまいりますので、一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

問合せ 財政課へ内線 7112